Crescendo

2019.10
vol.136

メディキット県民文化センター MEDIKIT ARTS CENTER 広報誌

極上のオーケストラと室内楽
浦先生の熱視線！2019/2020

こどももおとなも一緒に遊ぼう！
あそびのぼうけんフェスティバル

出演者が語る現代タンゴの巨匠
“パブロ・シーグレル”の魅力

チェコから天使の歌声が来宮！
チェコのクリスマス

「ここはどこでしょう？」第2弾は、劇場正面のオブジェクト前！撮影にご協力いただいたのは、NPO法人 みやざき子ども文化センターの「子ども劇団 空風スマイルシアター」のみなさん。劇場職員が手作りしたペーパークラフトの楽器を持って、秋の音楽隊に変身！

浦先生の 熱視線! 2019/2020

クラシックシーズン到来!
オーケストラ × 室内楽を楽しもう!

好評のコーナーが復活! 浦雄一先生(宮崎大学教育学部准教授)に、
この秋＆冬の2大公演を堪能するためのお勧めポイントを教えてもらいました。

浦 雄一 (うら ゆういち)

指揮者、作曲家。武蔵野音楽大学作曲学科卒業、米・アイオワ大学大学院博士課程管弦楽指揮専攻修了。音楽芸術博士(DMA)。2012年より宮崎大学に奉職し、現在、教育学部准教授。宮崎市消防団音楽隊楽長、宮崎メサイア合唱団指揮者を兼任する傍ら、九州各地のコンクールにおける審査員、宮崎日日新聞のコラム執筆者を務めるなど、地域に根差した活動を行っている。趣味は、プロ野球キャンプ視察(主に天福球場および東光寺球場)。

オーケストラ

ケルン放送交響楽団

ポイント❶
プレミアムなベートーヴェン・プログラム!

みんな大好き、ベートーヴェン! 唯一無二の楽聖によって考え抜かれた音楽は、クラシック愛好家には深く響き、音楽にあまり詳しくない方にもキャッチーに届きます。

『のだめカンタービレ』で一世を風靡した交響曲第7番と、ベートーヴェンのコンチェルトの中でも特に人気の高いピアノ協奏曲第5番「皇帝」。この堂々たるプログラムに、ヤノフスキとケルン放送交響楽団の、今回の日本ツアーにかける意気込みを感じます。

公演当日は勤労感謝の日。いつも頑張っているあなたへのご褒美として、またはあなたのために頑張ってくれている大切な方を誘って、是非ともお出かけいただきたいプレミアムな演奏会です。

ポイント❷
聡明な巨匠 × 百戦錬磨のオーケストラ

マレク・ヤノフスキ

日本でも多くのファンを持つ名匠、マレク・ヤノフスキ。今年80歳を迎えたマエストロの最大の特徴は、エネルギッシュな指揮から繰り出される雑味のない、純粋に美しい音楽! 忠実な読譜と鋭い洞察に基づいた演奏には説得力があり、「何度でも聴きたい」「いつまでも聴いていたい」と思わせてくれます。

ケルン放送交響楽団は、国際的な活動で知られる一方、地元市民に愛される"ドイツの地方オーケストラ"でもあります。驚くべきは、公式ウェブサイトに英語ページがないこと! それほどまでに"ザ・ドイツ"の楽団であるとも言え、玄人好みの本格サウンドにも思わず納得してしまいます。

幅広いレパートリーを誇る聡明な巨匠と、ベーム、クレンペラーら、数々のビッグネームと名盤を残してきた百戦錬磨のオーケストラ。そんな両者が、クラシックのど真ん中、ベートーヴェンで出会います。アイザックスターンホールで、また一つ、名演が生まれる予感です。

ポイント❸
絶対に聴いておくべきピアニスト、チョ・ソンジン!

チョ・ソンジン

2015年のショパン・コンクールで優勝し、世界から脚光を浴びる存在となったチョ・ソンジン。その華々しい経歴と端正な顔立ちから「またアイドルが出てきたんじゃない?」と誤解されそうですが、実は超・正統派。奇をてらわない、一つ一つの音を輝かしく紡いでゆく彼の魅力は、「皇帝」においても遺憾なく発揮されることでしょう。

この若き音楽家が、芸術の本質を見つめ、類まれなテクニックを芸術のために捧げようとする人物であることは、その音楽を客席で体感すれば必ずお分かりいただけると思います。話題性だけのソリストが少なからず売り出されている中、彼は紛れもなく"本物"です。今後益々の活躍が決定的なピアニストの演奏を宮崎で聴けるチャンス! お聴き逃しなく!

公 演

ケルン放送交響楽団

会場:アイザックスターンホール
日時:2019年11月23日(土・祝)
開場 14:15　開演 15:00

【出　　演】
マレク・ヤノフスキ(指揮)
チョ・ソンジン(ピアノ)
ケルン放送交響楽団(管弦楽)

【演奏曲目】
ベートーヴェン:
ピアノ協奏曲第5番 変ホ長調「皇帝」作品73
交響曲第7番 イ長調 作品92

オーケストラ × 室内楽 2公演セット券

ケルン放送交響楽団(11月23日開催)と、ベルリン・フィルハーモニー ピアノ四重奏団(2020年1月23日開催)の両公演を楽しめるとってもお得な【2公演セット券】。
極上のオーケストラと室内楽をご堪能ください。

セット料金 ＜全席指定＞ ※( )内はくれっしぇんど倶楽部会員価格
【S席】14,000円(12,400円)　【A席】11,000円(9,700円)
【B席】9,000円(7,900円)

※WEBではセット券の販売はございません。当劇場チケットセンターまたはお電話にてご予約・お買い求めください。
※前売りのみの販売となります。

室内楽

ベルリン・フィルハーモニー ピアノ 四重奏団

ポイント❶
伝統のサウンド × 進化するアンサンブル

言わずと知れたベルリン・フィル。その中から選ばれた3人の卓越した弦楽器奏者と、世界中の名門オーケストラと共演を重ねているマルクス・グロー(ピアノ)を擁するベルリン・フィルハーモニー ピアノ四重奏団は、伝統のドイツ・サウンドを重んじながらも、常に進化を続けています。

クヌート・ウェーバー(チェロ)とマシュー・ハンター(ヴィオラ)は、ともにベルリン・フィル在籍20年以上のベテラン。そこに今年、2016年入団のルイス・エスナオラ(ヴァイオリン)が、満を持して加わりました。スペイン・マドリード出身の若手ヴァイオリニストが吹き込む、新しくて熱い風。彼らの新たな挑戦に「熱視線!」を送りたい、注目のコンサートです。

ポイント❷
名手のみが奏で得る、極上の音楽!

"室内楽の王道"と言えば、弦楽四重奏で間違いないでしょう。実際、膨大な数の作品があり、全世界に数え切れないほどのストリング・カルテットが存在しています。一方、常設のピアノ・カルテットは非常に珍しく、ベルリン・フィルハーモニー ピアノ四重奏団はそのうちの貴重な一つです。

この編成の一番の魅力は、何と言っても多彩な音色(おんしょく)。ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロからなる弦楽セクションとピアノの絶妙なバランス、丁寧に重なり合う各楽器の音…。それは、限りなく繊細に放たれる、宝石の輝きのようです。耳にする機会の多いピアノ三重奏やピアノ五重奏とは異なる美しさをもつその調べは、名手によってのみ奏で得る、極上の音楽です。

ピアノ四重奏のためのメジャーな作品はあまり多くないのですが、今回取り上げられるブラームスの第1番とシューマンは、このジャンルの"テッパン"です。さらに、アカデミー賞に4度もノミネートされ、テレビドラマ『デスパレートな妻たち』の主題曲ではエミー賞を受賞したハリウッドの作曲家、ダニー・エルフマン(私のイチ推しは、アニメ『ザ・シンプソンズ』のテーマ!笑)が書き下ろした異色の新作も、楽しみで仕方がありません。コントラストが鮮やかなプログラムにも、どうぞご期待ください!

公 演

ベルリン・フィルハーモニー ピアノ四重奏団

会場:アイザックスターンホール　日時:2020年1月23日(木)　開場 18:15　開演 19:00

【出　　演】 ベルリン・フィルハーモニー ピアノ四重奏団
ルイス・エスナオラ(ヴァイオリン)、マシュー・ハンター(ヴィオラ)、
クヌート・ウェーバー(チェロ)、マルクス・グロー(ピアノ)

【演奏曲目】 エルフマン:ピアノ四重奏曲　シューマン:ピアノ四重奏曲 変ホ長調 Op.47
ブラームス:ピアノ四重奏曲 第1番 ト短調 Op.25

出演者変更 ベルリン・フィルハーモニー ピアノ四重奏団

出演を予定しておりましたアンドレアス・ブシャッツ(ヴァイオリン)が、ベルリン・フィルからゲヴァントハウス管弦楽団へ移籍したことに伴い、四重奏団メンバーが変更されました。同公演には、新メンバー、ルイス・エスナオラが出演いたしますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、今回の出演者変更に伴う払い戻しは致しかねますので、何卒ご了承ください。

出演者のプロフィールにつきましては、ホームページをご参照ください。

巻頭コラム

私もまたラ・ボエームだった

この夏、とても懐かしい思いで「ラ・ボエーム」を観ました。延岡のひむかオペラの皆さまにお願いして、彼らが延岡で公演してきたオペラを今年は宮崎の芸術劇場でもやっていただいたのです。もう30年以上も前ですが、舞台となったパリの街に私自身も暮らした思い出の様々がよみがえってきました。

19世紀から作られたパリの旧市街はどこも7～8階建ての石造りのアパートが建ち並んでいます。通りに面した1階にはいろんな店舗が軒を連ねていますが、マルシェと呼ばれる生鮮食品や日用雑貨の店が並ぶ通りが至る所にあります。八百屋、魚屋、肉屋、チーズ屋そしてパン屋。私も住んでいたアパートの近くのマルシェに朝一番のバゲットを買いによく行きました。カフェは至る所にあってそのテラスでは昼も夜も賑やかなフランス人の声が響いていたものです。パリ大学に近いあるカフェに入り、昼時に珍しく空いているテーブルに座ろうとしたら回りの客が何やらクレーム。よく聞いたら「その席はフランソワーズ・サガンの席だよ」と言っていました。日本でもよく知られた女性作家ですが、彼女が来なくてもその席は必ず空けておいたようです。

ひむかオペラの「ラ・ボエーム」の第二幕は、そうしたパリの街のかつてのたたずまい、雰囲気をよく醸し出していました。買い物客や酔っ払いや走り回る子どもたちを縫って、風船を満載したゴンドラに乗って重要な脇役のムゼッタが登場した時は、思わず拍手してしまいました。演出家の遊び心と群衆役の合唱団の皆さんの熱意がうまく融け合って一枚の大きな絵画を見る様でした。

2年に一度のひむかオペラの公演は今回が4回目です。県北を中心に地元で合唱や楽器演奏に熱心に取り組んでおられる方たちと、東京藝大でたまたま同時代を過ごした宮崎県出身の声楽家たちが、時間をかけて作り上げ公演してこられました。芸術劇場で舞台のお芝居もあるオペラを公演できる機会はとても少なくて、その意味でも実に貴重な本物のオペラを観せていただきました。ひむかオペラの皆さまの熱意と努力に心から感謝しています。

ラ・ボエームは英語でボヘミアン。漂流する民、よるべなき旅人といった意味があって、このオペラの主人公たちを言い表しています。パリの屋根裏で不確かだが熱い青春をおくる若者たちの友情と恋と挫折の物語に、ご自身の青春時代を重ね合わせてご覧になった方も多いのではないでしょうか。懐かしさを込めて、自分もまたボヘミアンだったな…と。

公益財団法人宮崎県立芸術劇場
理事長　佐藤寿美

まつもと　ののほ
松本 野々歩さん

たなか　けい
田中 馨さん

こどもたちと、昔こどもだったすべての人へ
心と体がよろこぶ　ふしぎで愉しいフェスティバル

あそびのぼうけんフェスティバルには、「ロバート・バーロー」「ロバの音楽座」「チリンとドロン」の3組のアーティストが出演します。
みなさんどんな人たちなんでしょうか？ あそびをテーマにした“体験型”コンサートって？
ロバート・バーローのメンバー、松本野々歩（まつもと ののほ）さんと田中馨（たなか けい）さんにお話をききました。

Q.「ロバート・バーロー」と「ロバの音楽座」のみなさんについて教えてください。

野 「ロバート・バーロー」は、それぞれが絵、音楽、歌、ダンスを得意とする5人組です。私たちは、それぞれの特技を活かした「あそびの教室」というワークショップを軸に活動しています。ロバの音楽座さんにコンサートのお手伝いとしてそれぞれが呼ばれたのがきっかけですが、冗談で「この5人で何かできるんじゃない！？」と言っていたのが、いつの間にか、こどもとは、あそびとは、表現とは、と真剣に話し合う5人になっていました。

馨 「ロバの音楽座」は、古楽器や手作り楽器を演奏して、音の温かさだったり素朴さから、知らないはずなのにどこか懐かしいと感じるような心地いい音楽を奏でる人たちですね。こどもたちに、自分が思う最大の良い音楽を聴かせたい！という想いがつよい人たちです。

▲ロバの音楽座の稽古場、ロバハウス。あそびの教室もここで開かれている。

Q.赤ちゃんのためのコンサートは、「チリンとドロン」という、歌とコントラバスのユニットのコンサートですね。

野 「チリンとドロン」は私たち2人のユニットなんですけど、1番に大人もこどももリラックスした時間を過ごしてもらいたいと思って活動しています。生活の中で感じる緊張とかストレスとか、その時間はふわっとほぐれるといいなと思っています。

Q.あそびのぼうけんコンサートは「体験型」とありますが、どのようなコンサートなんでしょうか。

野 チラシにも「宮崎にやってきたロバート・バーローは、今日もあそびの種を探してる。」と書いているように、みんなと一緒になにかを探す冒険にいくような舞台になりそうです。自分たちの中に眠る創作意欲みたいなものとか、童心とか、冒険心とかが掻き立てられて、むくむく何かが湧いてくるような感覚になるコンサートにしたいね。

馨 コンサートには前日のワークショップで得たものも取り入れたいと思っています。せっかく宮崎という場所に行かせてもらうので、みんなの好きな風景とか公園とか、自分の住んでいるところを素材として取りあげたい。知らないはずなのにどこか懐かしいような、そういった記憶の感覚に触れたいというのは、ロバさんも一緒だと思います。

Q.9日のワークショップ「あそびの教室」は、みなさんが「先生」として何かを教えるのではなく、一緒に考えながらあそぶための教室、ということですが、なにか心がけていることはありますか？

野 わたしは、お母さんでも先生でもなく、変で素敵な大人、みたいな存在でいたいと思っています。わたしはプロとしてやっているので、少なからず経験と誇りがありますが、それを最初に伝えたり教えたりするのではなくて、みんなからもらったヒントで、自分がどう動かされるか。みんなからもらった栄養で育つ植物みたいな（笑）でも、そうありたいと思い、私自身も挑戦しています。

馨 僕は、こんな大人もいるんだな、という「幅」を広げる存在でありたい。こうしなきゃいけないとか、こうしたほうが喜ぶとか、そういうことを基準に考えていない人もいるんだな、みたいな。こどもたちが生きている世界においての「幅」になれるように、自分は自分でいることを心がけています。

Q.「こどもたちと、昔こどもだったすべての人へ」とありますが、こどもも大人も楽しめる作品になるように、意識していることはありますか？

馨 僕たちはコンサートを作る段階で、こどもたちとコミュニケーションをしたいと思って作っているんです。大人からこどもたちにむけて、という教育的な目線になるのも自分がやりたいことではなくて、僕っていう個人と、会場にいるみんなとのコミュニケーションの場を想像しながら作品を作っています。それをやれば、もはやこども向けというより、こどもたちとコミュニケーションをとりたい作品で。そうなれば、大人もこどもも楽しめるものになるというか、その垣根はなくなるのかなと僕は思っています。

Q.ロバの音楽座とロバート・バーローは、どちらもあそび心を大切にされていて、どこか雰囲気が似た2組だと思います。一緒にコンサートをするうえで、楽しみなことはありますか？

馨 ロバの音楽座はやっぱり演奏がプロフェッショナルで、音楽にエネルギーがある。僕らにはできないことが彼らにはできるので、逆にぼくらはこんだけ遊べるなとか、こんだけ変なこともできるなとか、構想がどんどん膨らみますね。

野 彼らは芸歴も長く経験も豊富ですけど、常に少年少女の気持ちを忘れず、あそび心を誰よりも忘れずに、音楽をやっている人たちです。常に吸収して、それを舞台に反映させているのは、すごいなと思います。アイデアもポコポコでてくるし、急にプランが変わったりもするし。

でも私たちもそれにすんなり従わない頑固さもあって（笑）リハーサルどうなるだろうね。面白い合戦！みたいになりそうだね。

馨 今日の「あそびの教室」で、ずっと机の下にもぐっている子もいたと思うんですけど、「なんで机の下にいちゃいけないの？」っていう、そういう子たちの中にある納得いってなさも、切り捨てたくないと思っていて。そういう子たちが全体の1割しかいなかったとしても、そういう子たちにも、何かとっかかりになるような作品を作りたい。
でも、楽しんでほしいというのが1番で。むずかしく考えずに、身をゆだねて、目の前で起こることをキャッチしてほしいです。

野 少しむずかしそうって思っていた感覚を、逆戻りさせたいのかも。歌って楽しい！踊りって身近！とか。なんだ、簡単じゃん、楽しいな。って、思ってもらえたらいいな。

馨 いろいろと話しましたが、非常に親しみやすいコンテンツですので、だまされたと思ってきてみてください（笑）！
よろしくお願いします！

うたってみよう！

ロバート・バーローのテーマ
「あそびの冒険」

試して間違って　また試して出来上がり
出来上がって迷って　ひと眠りしてこれでいいか
ロバト　それはきっと　ロバトバ　あそびの冒険
これでいいかと言ったのに　また試して繰り返し
繰り返してやりすぎて　元に戻してこれがいいな

これがいいの？と言われて　じゃあ試しに組み合わせ
組み合わせて驚いて　これもいいなそれもいいな
ロバト　最初の最初は
ロバト　なにもなかったよ
ひかりがぴかりとロバトバ～

ロバト　それはきっと
ロバトバ　あそびの冒険
さあでかけよう　あそびの冒険

＼動画はコチラ／

あそびのぼうけんフェスティバル

詳細はコチラ

2019年11月9日（土）

ロバート・バーローのあそびの教室

教室1 カタチと踊ろう！カタチで歌おう！
「○▲□実験室」（ダンス × 作曲）

教室2 大きな旗と不思議な行進
「ぱやんぱやんパレード」（歌 × 絵 × 合奏）

※募集は締め切りました。

ロバート・バーロー

2019年11月10日（日）

チリンとドロンのコンサート
10:45開場　11:00開演
対象 0歳～2歳

チリンとドロン

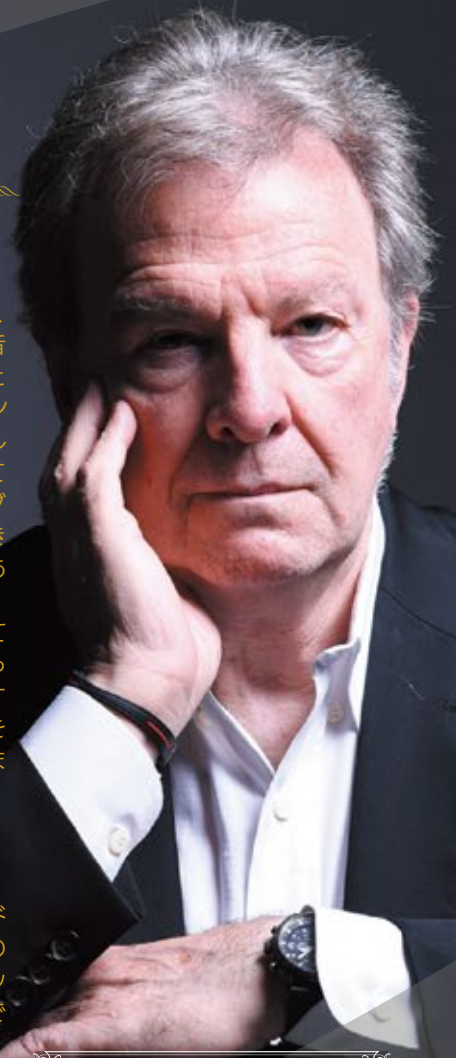
あそびのぼうけんコンサート
（ロバート・バーロー × ロバの音楽座）
14:00開場　14:30開演
対象 3歳以上

ロバの音楽座

共演者が語る！

“パブロ・シーグレル”の魅力

昨年「グラミー賞」を受賞し、タンゴ界の革命児アストル・ピアソラも
その才能にほれ込んだパブロ・シーグレルが、ついに宮崎初登場！
今回シーグレルと共演する、日本の実力派ミュージシャンが語る
彼の意外な素顔、魅力とは・・・？



譜面にとらわれない自由な表現

西嶋　徹
（コントラバス）

第一印象はかっこいい。映画俳優みたいと思いました。でも素顔はよくジョークも言うし、とてもお茶目な人だと思います。料理がお得意で、アルゼンチンの家庭料理をご馳走になったことがあるのですがどれも絶品でした！
シーグレル氏の曲で好きな曲は「ブエノスアイレスレポート」。冒頭からのシンプルなモチーフにさまざまな要素が重なっていくにつれ、リズムもハーモニーも徐々に緊張感と立体感を増していき、即興のシーンでは、ソリストは調性から積極的に離れてゆくため緊張感と不安定さがさらに増して、どこまで行ってしまうんだろうという、そのスリルがたまりません。譜面にとらわれない自由な表現をされるので、その即興性や、他のメンバーの演奏と刺激し合ってその瞬間瞬間で起きる音楽のきらめきや化学反応のようなものを感じていただけたら嬉しいです。

楽しい時間を作り出すマエストロ

ヤヒロトモヒロ
（パーカッション）

リハーサル会場ではじめてお会いしたんですが、会場に入ってすぐにパブロ自ら私のパーカッションセットを覗きに来て握手を交わしたんです。フレンドリーな方だと感じました。
彼は好奇心と遊び心を持ち、楽しい時間を作り出すマエストロです。作曲家としてもピアニストとしても、チャレンジ精神を持ち続けるパワーに刺激を受けています。

クリアで爆発力のあるタッチ

北村　聡
（バンドネオン）

演奏している時はもちろん、それ以外の時も本当に音楽を愛してる方なんだなと思います。舞台上でメンバーとの演奏＝会話を楽しんでおられる姿に感動しています。個人的にはシーグレルさんのタッチが大好きです。クリアで爆発力があり、いつもしびれています。
タンゴは曲をアレンジしてそれぞれのパート譜がしっかりしている構築性の高い、様式美の音楽ですが、シーグレルさんはその上に大胆に即興部分を設け、よりスリリングな音楽世界を作られています。突き抜けるパワーを感じてもらいたいです。

ピアソラ音楽の後継者

鬼怒無月
（ギター）

出会いは2011年にバンドネオン奏者の北村聡君の推薦で、オーディションセッションを銀座のスタジオで行った時です。
1曲目でシーグレルさんが横にいた日本側のスタッフの方に「ニヤッ」と笑いかけたのが忘れられません。それで無事合格し現在に至ります。
シーグレル氏はアストル・ピアソラの音楽の圧倒的な後継者ですからね。精神的な意味でも。そして未だ衰えることを知らぬ創造性とライブでの爆発力が魅力ですね。

アストル・ピアソラとは…
アルゼンチン出身の作曲家でバンドネオン奏者。タンゴにクラシックやジャズを融合した音楽で、独自のスタイルを確立。タンゴの枠を超えて世界中で演奏され、日本でも絶大な人気を誇っている。

2018年グラミー賞受賞

パブロ・シーグレル
（ピアノ／作・編曲）

名門ブエノスアイレス音楽院を首席で卒業。1978年より、クラシックピアニストでありジャズの即興の才をもつピアニストを探していたタンゴの革命児アストル・ピアソラに五重奏団のメンバーとして招かれる。その後、師の引退まで10年余巨匠を支え、世界各地で演奏活動に参加しピアソラの音楽的発展に大きな影響を与えた。自身のCD「ジャズタンゴ」がグラミー賞のベスト・ラテンジャズ賞を獲得。

公演情報

ブエノスアイレス・レポート ～パブロ・シーグレル ジャズ・タンゴ・アンサンブル～

会場：メディキット県民文化センター（宮崎県立芸術劇場）演劇ホール
11月16日（土）　開場 14:30　開演 15:00

【作曲：パブロ・シーグレル】　ブエノスアイレスレポート／石蹴り遊び／ 別れのミロンガ ＊ピアソラへのオマージュ／ ロホタンゴ
【作曲：アストル・ピアソラ】　ミケランジェロ70／オブリビオン（忘却）／ リベルタンゴ／フーガと神秘　（順不同、予定曲）

クリスマスソングやジブリの映画音楽をお届けする、
チェコ少年合唱団“ボニ・プエリ”クリスマス・コンサート。
心温まる天使の声を持つ彼らについてご紹介します。

チェコ少年合唱団 BONI PUERI（ボニ・プエリ） クリスマス・コンサート

“ボニ・プエリ”とは

BONI PUERI（ボニ・プエリ）はチェコ語で“よい子たち”。チェコの東ボヘミア地方の中心都市フラデツ・クラロヴェを本拠地とし、4歳～23歳までの青少年約350名が所属しています。
“ボニ・プエリ”コンサートの魅力は、何より楽しいこと！ヨーロッパの伝統音楽とクリスマスソングに加え、日本のジブリソングにも挑戦します。また、少年たちの踊りや日本語によるMCなど盛りだくさん！音楽の国チェコより心温まる“ボニ・プエリ”の世界を皆様にお届けします。

チェコってこんな国

中世の面影が残るチェコ共和国。その町並みの美しさはまるで絵本の世界そのもの！ 中世を舞台にした人形劇が盛んに開催され、国立のマリオネット劇場があるほど人形劇は長く愛され続けてきました。
また、チェコのプラハを流れるモルダウ川に架かる“カレル橋”は、昼間は観光客で賑わい、橋の上には多くの露店が並びます。大道芸やジャズ演奏なども行われ、夜になるとプラハ城やカレル橋がライトアップされ、たくさんの人が夜の散歩を楽しみます。
そして、チェコ人はビールが大好き！ 国民一人当たりのビール消費量は世界第1位で、銘柄は400以上にもわたり種類も豊富です。

チェコのクリスマス

チェコの首都プラハで開かれるクリスマス市は、世界で最も美しい市のひとつと言われています。旧市街広場のマーケットには巨大なクリスマスツリーが飾られ、600年以上経つ今も動いている世界的にも有名な天文時計や、幻想的な教会など訪れる人の心をつかんで離しません。
12月24日の4週間前の日曜日からマーケットが立ち始め、チェコの伝統的なジンジャーブレッド（ペルニーク）やトゥルデルニークといった甘いお菓子が販売されたり、教会コンサートなどたのしいイベントがたくさん！ 23日から3日間は観光地までお休みとなり家族と過ごして教会のミサに参加することが多いそうです。

← チェコで人気の伝統的なパン、トゥルデルニーク。シナモンの甘い香りにうっとり。たっぷり砂糖をまぶしたり、生クリームを添えたりと、アレンジもお好みで。

ジンジャーブレッド（ペルニーク）。生姜やスパイス入りでアイシングの模様が描かれたお菓子。↓

↑街の至る所で演奏や歌などが披露される。また、教会も数多くあり演奏会が開かれている。

歌あり、踊りあり、少年たちの日本語MCありの楽しいステージ♪

公演情報

チェコ少年合唱団 “ボニ・プエリ” クリスマス・コンサート

会場：アイザックスターンホール　12月8日（日）14:00開演

演奏曲目

第一部：ヨーロッパのクラシック音楽
G.カッチーニ：アヴェ・マリア
B.スメタナ：モルダウ（『わが祖国』より）ほか

第二部：チェコ、モラビア、スロヴァキアの民謡
B.スメタナ：大いに楽しもうではないか（オペラ『売られた花嫁』より）
スロヴァキア民謡：踊れそして回れ ほか

第三部：映画音楽と世界のクリスマスソング
ジブリ映画音楽の世界／木村弓：いつも何度でも、久石譲：となりのトトロ
世界のクリスマスソング／F.グルーバー：聖夜　ほか

メディキット県民文化センター（宮崎県立芸術劇場） 自主事業公演チケット情報

'19 みやざきの舞台芸術シリーズⅢ 『小さな街の大きな愛』

2019
12/21(土) 開場 18:00　開演 18:30
12/22(日) 開場 14:00　開演 14:30

メディキット県民文化センター
イベントホール（宮崎県立芸術劇場）

宮崎にゆかりのある方が企画提案する舞台芸術の公演を応援するシリーズ。第３弾は、宮崎を拠点に長年活動する劇団SPCが、特別ゲストに劇団カクスコ創立メンバーの岸博之を迎えてお送りする演劇公演です。舞台は宮崎市の中心市街地。馴染み深い宮崎の風景、人々の温かさを描く、劇団SPCハートフルシアター第２弾。

チケット料金【全席自由】
一般 2,000円 ／ 高校生以下 1,000円

出演者
【特別ゲスト】 岸博之（アンテーヌ）
まなべゆみ、蛯原直美、高田美香、森夢希
川﨑紫央里、真部法人、蛯原達朗、五十川まこと
金丸浩司、檜山明子、真北聖子、金丸千夏
金丸朔巳（以上 劇団SPC）
湯浅泰典、神水流じん子、中野弥生、濵砂崇浩
鬼束雄人、坂口浩平、阪本斗志稀、原口奈々
【ミュージシャン】 長谷川洋、中村大介
【作・演出】蛯原達朗

Attention（ご注意）
◎記載情報は変更になる場合があります。
◎U25割は鑑賞時25歳以下が対象。その他の割引サービスの詳細は、劇場HPをご覧ください。
◎当日券が出る場合は、一般チケットのみ500円増になります。※一部公演除く
◎託児サービス（有料・事前申込要）がご利用いただけます。※一部公演除く

11月10日(日) 開場10:45　開演11:00
大練習室1
あそびのぼうけん フェスティバル
チリンとドロンのコンサート
出　演：チリンとドロン
全席自由　子ども（0歳～）500円　一般（中学生以上）1,000円
詳細は P3・4 ▸▸▸
チケット発売中

開場14:00　開演14:30
イベントホール
あそびのぼうけん フェスティバル
あそびのぼうけんコンサート
出　演：ロバート・パーロー × ロバの音楽座
全席自由　3歳～小学生 500円　一般（中学生以上）1,000円

11月16日(土) 開場14:30　開演15:00
演劇ホール
ブエノスアイレス・レポート
～パブロ・シーグレル ジャズ・タンゴ・アンサンブル～
出　演：パブロ・シーグレル（ピアノ／作・編曲）、北村聡（バンドネオン）、鬼怒無月（ギター）、西嶋徹（コントラバス）、ヤヒロトモヒロ（パーカッション）
全席指定　一般 3,500円（3,100円）U25割1,500円　ペア割6,000円（5,400円）※前売りのみ
詳細は P5 ▸▸▸
チケット発売中

11月23日(土・祝) 開場14:15　開演15:00
アイザックスターンホール
UMKクラシックス ケルン放送交響楽団
出　演：マレク・ヤノフスキ（指揮）、チョ・ソンジン（ピアノ）、ケルン放送交響楽団（管弦楽）
全席指定　S席12,000円（10,800円）　A席9,000円（8,100円）
B席7,000円（6,300円）　C席5,000円（4,500円）　D席3,000円（2,700円）
U25割 全席種半額　親子割 9,500円（A席のみ）※小・中学生＋一般
詳細は P1・2 ▸▸▸
チケット発売中

12月4日(水) 開場18:00　開演18:30
演劇ホール
『終わりのない』
出　演：山田裕貴、安井順平、浜田信也、盛 隆二、森下 創、大窪人衛、奈緒、清水葉月、村岡希美、仲村トオル
全席指定　S席7,000円（6,300円）　A席5,000円（4,500円）　U25割 全席種半額
チケット発売中

12月8日(日) 開場13:30　開演14:00
アイザックスターンホール
チェコ少年合唱団
"ボニ・プエリ" クリスマス・コンサート
出　演：チェコ少年合唱団 "ボニ・プエリ"、指揮者：パヴェル・ホラーク
全席指定　一般 3,500円（3,100円）ペア割 6,000円（5,400円）※前売りのみ
U25割 1,500円　親子割 4,000円 ※小・中学生＋一般
詳細は P6 ▸▸▸
チケット発売中

12月21日(土) 開場10:30　開演11:00
アイザックスターンホール
パイプオルガン　プロムナード・コンサート vol.164
土曜日の朝はオルガンでブランチを…「オルブラ」
出　演：福本茉莉
全席自由　4歳以上 500円　なかよしチケット 700円（4歳以上～大人までの2人1組。前売り券のみ）
チケット発売中

12月21日(土)・12月22日(日)
12月21日 開場18:00　開演18:30
12月22日 開場14:00　開演14:30
イベントイベントホール
'19みやざきの舞台芸術シリーズⅢ
「小さな街の大きな愛」
出　演：岸博之、劇団SPC ほか
全席自由　一般 2,000円　高校生以下 1,000円
チケット発売中

2020年
1月13日(月・祝) 開場13:30　開演14:00
アイザックスターンホール
オルガンとその仲間たちシリーズ2019「グローリア」
大塚直哉（企画・製作／指揮・オルガン）、桐山健志（バロック・ヴァイオリン／コンサートマスター）、大森彩加（ソプラノ）、黒木真紀子（ソプラノ）、古澤淳（ソプラノ）、横瀬まりの（アルト）、古楽器オーケストラ、オルガンとその仲間たち合唱団（約60名）
全席指定　一般2,500円（2,200円）　U25割1,500円　親子割3,000円 ※小・中学生＋一般
チケット発売中

1月23日(木) 開場18:15　開演19:00
アイザックスターンホール
ベルリン・フィルハーモニー ピアノ四重奏団
出　演：ベルリン・フィルハーモニー ピアノ四重奏団
ルイス・エスナオラ（ヴァイオリン）、マシュー・ハンター（ヴィオラ）、クヌート・ウェーバー（チェロ）、マルクス・グロー（ピアノ）
全席指定　一般 4,000円（3,600円）　U25割 2,000円　親子割 4,500円 ※小・中学生＋一般
詳細は P1・2 ▸▸▸
チケット発売中

8月10日（土）と11日（日）の2日間にわたり、「Let's 和の音♪」を開催し、箏、三味線、尺八、小鼓、笛の5種類の楽器を体験していただきました。

10日（土）「かじってみよう！」

子どもクラス・大人クラスそれぞれ、講師の先生のデモンストレーションの後、楽器の歴史や構え方などが説明されました。楽器の扱いや慣れない姿勢に苦労しつつ、ようやく音が鳴り始めると、あちらこちらで笑顔が見られます。2時間の講座の最後に、アイザックスターンホールで、先生方と一緒に「さくらさくら」や「ほたるこい」を合奏しました。

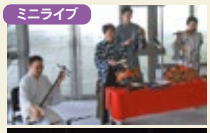
参加者の声

子どもクラス
- 「さくらさくら」をえんそうできてうれしかった
- いがいとむずかしかった
- またやってみたい

大人クラス
- これをきっかけに、本格的に習ってみたいと思いました
- 温かく丁寧な指導でとてもよかったです
- 本格的な音楽に触れられる充実した時間でした

11日（日）「ふれてみよう！」

初開催の、無料で1日自由に和楽器を体験するイベントです。各楽器のコーナーで、講師やスタッフのサポートの下、小さいお子さんからご年配の方まで、多くのお客さまが思い思いに楽しんでくださいました。合間には、「長唄三味線＆囃子」、「箏＆尺八」、「津軽三味線」を間近で聴けるミニライブも開催。ユーモア溢れる解説とともに「勧進帳」「津軽じょんから節」などの曲が披露されると、迫力ある演奏に大きな拍手が起きていました。


ミニライブ

ミニライブ　体験の様子

お問合せ
公益財団法人 宮崎県立芸術劇場 MIYAZAKI PREFECTURAL ARTS CENTER
〒880-8557 宮崎市船塚 3-210
http://www.miyazaki-ac.jp/
TEL.0985-28-3208　FAX.0985-20-6670
Twitterとfacebook随時更新中！「フォロー」と「いいね！」お待ちしています。

企画・制作・発行／公益財団法人宮崎県立芸術劇場　宮崎県宮崎市船塚3-210 TEL0985・28・3208
印刷・製本／藤屋印刷株式会社　宮崎県宮崎市橘通西1-4-14 加田屋ビル2F TEL0985・32・5380